

令和5年9月21日（木曜日）

建設委員会

第5委員会室

出席委員

大西陽介、重田一政、川島淳良、阿山正人、
八木隆次郎、高見千咲、東影 昭、神頭敬介、
松岡廣幸

再開

9時54分

上下水道局

9時55分

陳謝

・入札事務について

議案説明

- ・議案第116号 新甲山浄水場建設事業者審査委員会
条例について
- ・議案第129号 令和4年度姫路市水道事業会計剰余
金の処分について
- ・議案第130号 令和4年度姫路市下水道事業会計剰
余金の処分について

報告事項説明

- ・「姫路市水道ビジョンの中間見直し」及び「新たな
姫路市下水道事業経営戦略の策定」について
- ・水道料金体系の見直しについて
- ・入札事務について

質疑・質問

10時26分

（質問）

上下水道局では令和元年から今回までで、入札事務
に係る事務処理ミスが7件あった。

今回の再発防止策のほかに、勉強会などはきちんと
しているのか。

（答弁）

7件というのは姫路市全体から考えても非常に多い
割合であると認識している。

このたびの事案を受け、管理職と実務担当者等でグ
ループディスカッションを行い、ミスが生じやすい要
点をまとめたチェックリストにこのたびの事案に係
るチェックポイントを追加した。

管理職と実務担当者らによる再発防止のための議
論については、今後も継続して実施していく。

（要望）

民間ではこれほどミスが多いと叱られるだけでは
済まない。

あつてはならないことなので、ミスを減らすように
努力されたい。

（質問）

議案第129号の水道事業会計剰余金の処分について、
令和元年度からかなり積み立てており、今では相当な
額になっていると思われる。

積み立ては計画的に行わなければならないと思うが、
どの程度積み立て、今後の建設改良や新浄水場建設に
充てようと考えているのか。

（答弁）

建設積立金については、令和2年度の姫路市水道ビ
ジョン策定時に中長期の投資財政計画を策定したが、
資材の高騰等を受け、今回見直しを図っている。

現在、各事業課にて中長期の投資計画の優先順位や
概算金額を集計しており、今後、経営管理部でそれを
総計した上で中長期の投資財政シミュレーションを
策定し、その中で建設負担金についても適正な額を目
標として積み立てることとしている。

現在の建設積立金は、新浄水場等の大規模事業等を
勘案すると、まだ不足している状況である。

一方で、水道事業会計については、有価証券への投
資や、いわゆる貯金のような、将来の建設需要を見込
んだ積立ても行っている。

そのようなことを総合的に判断して、中長期的な投
資財政シミュレーションの中で、建設積立金の適正な
額を改めて判断していきたいと考えている。

（質問）

できるだけ現状に見合った形へ水道料金体系を見
直すことを含め、水道事業が継続されるよう、しっか
りとシミュレーションをされたい。

（質問）

水道料金体系の見直しについて、実際に使用者にか
かる水道料金のうち基本料金がいくらなのかが示さ
れていないので、基本料金割合が低いと言われても分
かりにくい。

もっと具体的な説明すべきだと思うが、どうか。

（答弁）

使用水量に応じた様々なパターンを用意して、料金
体系が変化した場合にどの程度負担が増えるかとい
った増減率も掲載した表を用いて説明しており、例え
ば20口径で月々5立米使用している家庭では、料金体

系の見直しにより、何%負担が増えるかというようなことも示している。

使用者にとって分かりやすい説明を心掛けているつもりだが、説明不足であることも認識している。

今後は、様々な使用水量の利用者が、自分の水道料金が具体的にどのように変化するのが分かりやすくなるよう、表現の仕方について検討したい。

(要望)

市民には基本料金がかかなり高いという意識が強いということを踏まえ、臨機応変に対応されたい。

(質問)

入札事務に係る事務処理ミスについて、上下水道事業管理者だけが起立して陳謝したが、これは謝り方として異例である。先日、消防局で起こった不祥事に対して市長が陳謝した際は、1人だけ起立するということはなかった。

先ほど令和元年から今までで同様のミスが7件もあったとの指摘があったが、局全体の危機感のなさが謝り方に現れているのではないかと。

また、管理者だけでなく、本当に悪いことをしたため陳謝したいと思っている職員もいるのではないかと。

職員が一同に起立して陳謝するという意識を常に持って対応してもらいたいと思うが、どうか。

(答弁)

陳謝の仕方に配慮が足りなかったことに対してお詫びしたい。

上下水道局で設計の事務処理ミスが多いというのは、管理者である私の指示の至らなさによるものかと思う。

今後は、全職員が緊張感を持って入札事務をはじめとした各種の事務に当たるよう、厳しく指導したい。

大変申し訳ない。

(要望)

失礼だが、全く説得力がない。

本当に緊張感があるなら今の陳謝も起立してすべきだと思うので、そのような意識をしっかりと持ってもらいたい。

(意見)

水道料金体系の変更については、各家庭でどのような値上げになるのかなど、市民にとって分かりやすい方法で説明すべきだと思う。

例えば、4人家族、2人家族、独身というように、標準家庭を設定して料金体系がどのように変化するかを示してはどうかと思う。

また、見直しの結果、どれくらい水道事業の収益が上がるのかという説明もしてみてもどうかと思う。

(質問)

市民にとっては他都市と比べて本市の水道料金がどうであるのかが関心事であり、本市は赤穂市と比較すると水道料金が高いと思われる。

そのため、説明の中に他都市との比較を盛り込むのは大事なことかと思う。インターネットで調べれば分かることなので、そういった情報も市民に対してオープンにしていくことが必要ではないかと思うが、どうか。

(答弁)

今回報告した料金体系の見直しや、今後進める料金の見直しには、使用者の理解が何よりも必要である。

そのため、他都市との比較といった情報も適切に開示しながら、丁寧な説明に努めたい。

(要望)

マイナス面として、家島への海底送水管の件なども理解してもらわなければならないと思う。そのようなことも含め、いろいろな情報を市民との間で共有していくことが大事だと思うので、よろしくお願ひしたい。

(質問)

水道料金体系の見直しについて、市民にはまた水道料金が上がるのかと思われるので、しっかりと分かりやすく示す必要があると思う。

また、昨今はかなり気温が高く、水道料金が上がると庭の水やりも大変になり、井戸を掘る人が出てくると思う。過去には大きな会社が井戸を掘ることもあったと思うので、見直した結果、水道料金の負担増から井戸を掘る人が増え、水道の使用量が減るということがないよう気をつけてもらいたい。

教育や国民健康保険の保険料など、総合的に考えて本市に住んだり、本市で子育てしたりしようとする判断する材料の1つに水道料金も入ると思うので、水道ビジョンの見直しの中で、きっちりと議論してもらいたいが、どうか。

(答弁)

指摘のとおり、水道料金を負担に感じ、地下水を利

用する企業や一般の住民が増えてきている。また、人口減少や節水機器の普及等から水需要はかなり減少している。

そのような状況下で料金等を見直すに当たって、まずは維持管理に係る経費の縮減を考えるべきなので、施設の統廃合や電力入札などに取り組んでいる。

しかしながら、甲山の新浄水場をはじめ、施設の統廃合については時間がかかっているため、少なくとも市民の皆さんが不便を感じながら節水している現状をある程度改善できるようにするという視点も取り入れつつ、料金体系の見直しに取り組んでいる。

例えば、これまでは使えば使うほど水道料金が上がるので節水する方向に傾いていたが、このたびの料金体系の見直しに際しては、ある程度水道を使うと従前よりも安くなるということも検討の柱としている。

いずれにしても、今回の料金体系及び今後の料金の見直しの議論の結果を含め、議会にしっかりと説明をしながら、市民全体に対しても分かりやすい広報や資料の提示を行い、説明責任を果たしていきたいと考えている。

(要望)

市民に分かりやすい広報にしっかりと取り組んでもらいたい。

また、水道料金が上がったのに全体的な収益が減ったというようなことにならないよう、地下水のことも含めてきっちりと調査してもらいたい。

(質問)

水道料金が上がるのであれば、なぜ上がるのか、例えば老朽化した管の更新にかかる費用についても併せて示すべきではないか。

ただ単に一方的な説明をするのではなく、どのような説明であれば納得してもらえるのかということ意識し、上下水道局だけでなく、全庁的に周知に努めることで、実際の料金体系の見直しの際にスムーズに事が運ぶのではないかと思う。

また、職員の立場でこれくらいの説明をすれば分かるだろうと思っても、分からない人もいる。より分かりやすい伝え方に努めることで叱責されるということはないと思うが、単純すぎる表現は行政文書としてはふさわしくないのか。

(答弁)

上下水道局においても広報の重要性は認識している。

例えば、上下水道局の機関紙であるひめじ上下水道だよりは親しみづらいことからあまり読まれていないという話を聞いているため、現在、柔軟な発想を持つ若手職員に今後の新たな上下水道の広報を検討させている。

具体的には、ひめじ上下水道だよりが若者からお年寄りにまで読んでもらえるよう、東京都などの先進事例や他都市で好評を博している広報紙について勉強したり、動画での発信等、よりしっかりと情報が伝わる広報の仕方について検討するために、上下水道局内で検討委員会を立ち上げ、対応しているところである。

その中で、どのようにすればより親しみやすく、見てもらうことができ、分かりやすい内容になるのかといったことについて、ケーブルテレビなどのマスコミのプロを含めた様々な方の意見を聴取している。

(要望)

年配の方から不満が出やすいこともあり、高齢者にも分かりやすいような広報に努められたい。

(質問)

水道事業、下水道事業とも、関係団体の代表者らで構成する懇話会を開催することのことだが、そこには一般市民も入るのか。

(答弁)

水道ビジョン推進会議では、有識者のほかに、連合自治会の代表等の市民代表や公募市民2名に参加してもらった。

今後は利用者の意見がより重要になるため、今後の懇話会等にも一般市民に入ってもらいたく、現在公募している。

(要望)

そういった方々に理解してもらいやすいような説明に努められたい。

また、分かりやすい方法として、本市の水道水が飲めるペットボトルを作ってみてはどうか。過去に同様の要望をした際には、当局からは賛同されなかったが、費用対効果の問題などがあるとしても、会議の中で本市の水道水を飲んでもらい、身近に感じてもらうというようなことを啓発方法の1つとして検討したほうがいいのではないかと思う。

燃料代の高騰など、昨今はいろいろと社会情勢が変わってきているため、改めて検討し直す余地があるのではないかと思うので、ぜひもう一度検討してもらいたい。

上下水道局終了

10時58分

【予算決算委員会建設分科会（上下水道局）の審査】

意見取りまとめ

11時29分

(1) 付託議案審査について

・議案第116号、議案第119号～議案第121号、議案第127号～議案第130号及び議案第132号～議案第135号、以上12件については、いずれも全会一致で可決すべきものと決定。

(2) 閉会中継続調査について

・別紙のとおり閉会中も継続調査すべきものと決定。

(3) 委員長報告について

・正副委員長に一任することに決定。

意見取りまとめ終了

11時35分

【予算決算委員会建設分科会の意見とりまとめ】

協議事項

11時36分

・行政視察について

令和6年1月15日（月）～16日（火）に実施することに決定。行先と視察項目に関しては、正副委員長に一任することに決定。

閉会

11時37分